

つくば市民白書 2012 実行委員会第 30 回会合 市民白書出版報告会 まとめ

日時：2012 年 10 月 14 日(日)10.00-12:30
 場所：市民活動センター
 出席者：河村、山本、緒方、亀山、矢作、矢澤、野口、寺門、原田
 議題：
 (1) 市民白書報告会
 (2) 第 30 回実行委員会

(1) 市民白書出版報告会

①経過報告

原田事務局長が出版と頒布開始時までの経過を報告した。
 8 月 30 日に佐藤印刷で 1500 部印刷を確認し、500 部を受け取った。出版費用 551,250 円は山本編集委員長が立替えている。

②訂正箇所

- ・目次、第 5 章 4：(正) 小川矩弘、(誤) 小川矩宏
 - ・199 頁郵便振替口座、口座番号：(正) 00180-2-393664、(誤) 00180-2-363664
 - ・奥付、連絡先電話番号：(正) 029-855-2752、(誤) 029-855-2757
- 奥付は最初の 500 部以外はシールを貼って訂正した。そのほかはホームページ告知のみ。

③修正依頼

9 月 19 日に事務局長に対して第 3 章 2 の執筆者永田尚大氏より修正依頼の電話があり、編集長と第 3 章担当委員が検討中である。1 ヶ月近く経っているので、至急修正文案をまとめて編集長が話し合い、最終的には実行委員会で対応することにした。

③ 頒布状況報告

(搬出・保管)搬出 1100、保管 400
 佐藤印刷から 8/30 に 500、9/11 に 500、9/20 に 100 搬出し、400 が保管されている。

(贈呈) 済 70、未 3

関係者：14。野口(表紙デザイン)への 1 冊と謝礼 20000 円、藤田がまだ(矢澤が対応する)。
 実行委員(22)：20。大庭より療養中とのことで返送された。早川に連絡がとれずまだ。
 執筆者(実行委員以外)：36。全員渡した。

(委託) 131

友朋堂(吾妻、梅園、桜、アッセ) 90、市民活動センター20、ミュージアムショップ 10、すざわ書店 1、武蔵野書店 5 産総研生協 5。

書店名	担当	日付	冊数	備考
友朋堂 吾妻	横井	9/5	20	内田さん
友朋堂 梅園	横井	9/5	10	矢口さん
友朋堂 桜	横井	9/5	20	
友朋堂 アッセ	横井	9/5	10	小島さん
市民活動センター	原田	9/1	20	700 円
ミュージアムショップ	原田	9/12	10	700 円
すざわ書店	原田	9/25	1	800 円現金受取
武蔵野書店	原田	9/25	5	800 円
産総研生協書店	河村	9/21	5	

(実行委員頒布状況) 2012. 10. 14 確認できた分

		預かり 数	在庫数	頒布数	受取金額	備考
4	亀山 大二 郎	20+ (60)	10	58	58,000	
6	河村 俊次	220	5	75	75,000	亀山に51、贈呈7、委 託18くらい
10	寺門 宏倫	(40)	20	7	7,000	山崎9冊販売
12	野口 修	(20)	15くらい			
13	野崎 浩司	240	45	54	54,000	9/1 実行委員会に140
15	原田 泰	100	17	100	72,000	9/20 学研労協 贈呈8 落丁1
		120		106	9,800	
16	矢澤 容子	(60)	17	23	22,840	贈呈15 5,000円謝礼として支 出
17	安田 早苗					
18	矢作 榮一	(10)		10	9,000	
19	山本 千秋	400	86	81	81,000	
20	横井 美喜 代					
	児玉 正文	(20)				
22	緒方章宏	(10)		10	10,000	
合計		1,100	215	524	423,560	

④ 内容に関する報告

(河村)

渡した人から、問題がよくわかった、他の人にも勧めたいなど好評だった。

(山本)

1. 白書運動の意義：住民の政治参加、主権者としての成長の糧、「地方自治は民主主義の小学校」、生活圏を含む基本的人権
2. 市政の広範な分野の現状と問題点を知る。複眼で市政を監視
3. 市政と正面から向き合う論考
4. 第一線で働き活動する人々の実践報告と提言
5. コラム：息抜きと鋭い問いかけ
6. 茨城県自治体問題研究所が勉強会でテキストとする予定(11月下旬～12月初旬)

(原田)

1. 本人の報告に編集委員会からの解説をつけるとよい
2. 市税全体の見通し図として、産業、市民の活動が不十分だった。
3. 冊子として発刊するには分量が多くなり、限界である。
4. 運動への橋渡し、フォローをどうするかが課題である。
5. 今後、高齢化が主要テーマになりそうだ。

(亀山)

1. 最初に地方自治に関する勉強と討議を十分行って始めるとよい。
2. 市民が自治意識を持ち、日常的に行動することが重要。白書はその底上げに役立つ。

(寺門)

若い人に地域社会で生きていくことの問題意識を提示する指南書として読んでほしい。

(緒方)

白書をテキストにして市政についての学習会を企画したらどうか。

③ 次回第31回実行委員会日程

12月1日(土) 13:30-16:00 予定

議題：会計のまとめ、今後の活動方針(実行委員会をどうするのか)

(以上)